

環境報告ガイドライン(2018年版) 対照表

第1章 環境報告の基礎情報	
項目	該当項目
1. 環境報告の基本的要件	
(1) 報告対象組織	編集方針 企業概要 CSR目標と実績の一覧表 事業活動による環境負荷の全体像
(2) 報告対象期間	編集方針 企業概要 事業活動による環境負荷の全体像
(3) 基準・ガイドライン等	編集方針
(4) 環境報告の全体像	編集方針 サステナビリティ発行物ダウンロード
2. 主な実績評価指標の推移	
(1) 主な実績評価指標の推移	事業活動による環境負荷の全体像
第2章 環境報告の記載事項	
項目	該当項目
1. 経営責任者のコミットメント	
(1) 重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	トップメッセージ
2. ガバナンス	
(1) 事業者のガバナンス体制	コーポレート・ガバナンス体制 環境管理体制
(2) 重要な環境課題の管理責任者	環境管理体制/環境マネジメントシステム リスクマネジメント
(3) 重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	環境管理体制/環境マネジメントシステム 環境マネジメントシステム/法規制の遵守
3. ステークホルダーエンゲージメントの状況	
(1) ステークホルダーへの対応方針	環境方針 レスポンシブル・ケア活動 ステークホルダー・コミュニケーションの推進 Eco Vision 2020
(2) 実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	環境方針 ライオンの社会・環境貢献活動全体像 地域共生活動 環境コミュニケーションの推進
4. リスクマネジメント	
(1) リスクの特定、評価及び対応方法	環境方針 バリューチェーン段階におけるCSR重要課題 CSR調達の推進 自然との共生 Input/Output・環境会計・環境効率 低炭素社会の実現 循環型社会の実現 化学物質の管理
(2) 上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置付け	環境方針 調達基本方針 ライオングループ サプライヤーCSR ガイドライン CSR調達の推進 グリーン購入

5. ビジネスモデル	
(1) 事業者のビジネスモデル	経営ビジョン
6. バリューチェーンマネジメント	
(1) バリューチェーンの概要	バリューチェーン段階におけるCSR重要課題 サプライヤーとのサステナビリティの推進 低炭素社会の実現 循環型社会の実現 自然との共生 化学物質管理
(2) グリーン調達の方針、目標・実績	環境方針 調達基本方針 ライオングループ サプライヤーCSR ガイドライン 「持続可能な原材料調達方針」の制定 CSR調達の推進 グリーン購入
(3) 環境配慮製品・サービスの状況	暮らし、まいにち、エコ。 化学品事業の環境配慮技術 自然との共生 当社の節水に役立つ商品
7. 長期ビジョン	
(1) 長期ビジョン	新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(2) 長期ビジョンの設定期間	新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(3) その期間を選択した理由	新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
8. 戦略	
(1) 持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
9. 重要な環境課題の特定方法	
(1) 事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	Eco Vision 2020 サステナビリティ重要課題・目標の推進
(2) 特定した重要な環境課題のリスト	Eco Vision 2020 サステナビリティ重要課題・目標の推進 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(3) 特定した環境課題を重要であると判断した理由	Eco Vision 2020 サステナビリティ重要課題・目標の推進 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(4) 重要な環境課題のバウンダリー	Eco Vision 2020 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
10. 事業者の重要な環境課題	
(1) 取組方針・行動計画	環境方針 Eco Vision 2020 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(2) 実績評価指標による取組目標と取組実績	Eco Vision 2020 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(3) 実績評価指標の算定方法	サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量
(4) 実績評価指標の集計範囲	Eco Vision 2020
(5) リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	該当なし
(6) 報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報	該当なし
主な環境課題とその実績評価指標	
項目	該当項目
1. 気候変動	
温室効果ガス排出	
(1) スコープ1 排出量	Eco Vision 2020 事業活動による環境負荷の全体像 事業活動から排出されるCO2の削減
(2) スコープ2 排出量	Eco Vision 2020 事業活動による環境負荷の全体像 事業活動から排出されるCO2の削減
(3) スコープ3 排出量	環境方針 Eco Vision 2020 事業活動による環境負荷の全体像 サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出	
(1) 取組方針・行動計画	環境方針 低炭素社会の実現
(2) 実績評価指標による取組目標と取組実績	Eco Vision 2020 低炭素社会の実現 新環境目標「LION Eco Challenge 2050」
(3) 実績評価指標の算定方法	Eco Vision 2020 サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量
原単位	
(1) 温室効果ガス排出原単位	Eco Vision 2020 温室効果ガス削減
エネルギー使用	
(1) エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	事業活動による環境負荷の全体像
(2) 総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合	該当なし
2. 水資源	
(1) 水資源投入量	水使用量の削減 Eco Vision 2020 事業活動による環境負荷の全体像
(2) 水資源投入量の原単位	水使用量の削減 Eco Vision 2020
(3) 排水量	事業活動による環境負荷の全体像
(4) 事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	該当なし
3. 生物多様性	
(1) 事業活動が生物多様性に及ぼす影響	自然との共生(生物多様性) ライオンと生物多様性
(2) 事業活動が生物多様性に依存する状況と程度	自然との共生(生物多様性) 生物多様性保全への取り組み
(3) 生物多様性の保全に資する事業活動	自然との共生(生物多様性) 各事業所の活動 生物多様性保全活動レポート Eco Vision 2020
(4) 外部ステークホルダーとの協働の状況	環境コミュニケーションの推進 イベントを通じた環境コミュニケーション レスポンシブル・ケア活動
4. 資源循環	
資源の投入	
(1) 再生不能資源投入量	該当なし
(2) 再生可能資源投入量	該当なし
(3) 循環利用材の量	該当なし
(4) 循環利用率(=循環利用材の量/資源投入量)	該当なし
資源の廃棄	
(1) 廃棄物等の総排出量	廃棄物の削減 事業活動による環境負荷の全体像
(2) 廃棄物等の最終処分量	廃棄物の削減 事業活動による環境負荷の全体像
5. 化学物質	
(1) 化学物質の貯蔵量	該当なし
(2) 化学物質の排出量	化学物質管理
(3) 化学物質の移動量	事業活動による環境負荷の全体像
(4) 化学物質の取扱量(使用量)	事業活動による環境負荷の全体像
6. 汚染予防	
全般	
(1) 法令遵守の状況	法規制の遵守
大気保全	
(1) 大気汚染規制項目の排出濃度、大気汚染物質排出量	化学物質管理
水質汚濁	
(1) 排水規制項目の排出濃度、水質汚濁負荷量	化学物質管理
土壌汚染	
(1) 土壌汚染の状況	法規制の遵守